

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公開番号】特開2001-215270(P2001-215270A)

【公開日】平成13年8月10日(2001.8.10)

【出願番号】特願2001-230(P2001-230)

【国際特許分類】

G 01 S 5/14 (2006.01)

G 04 G 5/00 (2006.01)

【F I】

G 01 S 5/14

G 04 G 5/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月25日(2007.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項28

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項28】 測位手段を有する測位システムで用いられるように構成された電子装置(MS)において、衛星(SV1～SV4)によって送信されたコード変調信号を受信する手段(1、2a～2d)を少なくとも備え、前記コード変調信号は、各衛星(SV1～SV4)に対して個々のコードで形成されている、電子装置(MS)であって、

基準コードに基づき測位の瞬間の前のコード・シーケンスにおける変更の後で受信したチップの数( $N_{chip}^k$ )及びコード位相(chip<sup>k</sup>)を決定する手段(10、11)と、前記チップ数のデータ及び前記コード位相のデータを前記測位手段へ送信する手段とを備えていることを特徴とする電子装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

推定擬似距離は、ユーザの受信機の位置〔ハ〕並びに推定された送信の瞬間における衛星の位置〔ヘ〕(〔ロ〕)に関して計算される。ユーザのデフォルト位置として移動局がその時に通信する基地局の位置が選択される。衛星の位置は、それ自体知られた式により時間の関数として計算される。ここでは、簡単のために、これらの推定擬似距離は、推定擬似距離が、推定GPS時間及びユーザの推定位置だけに基づくということを表すために、以下の式で表される。

【数8】

$$\rho_p^k = f(\hat{T}_{GPS}, \bar{\hat{x}}_u) \quad (6)$$

式(6)では、項fは、(強い)非線形関数を表し、下付き文字pは、それが問題の推定であるということを表し、そして〔ハ〕は、変数の上の線が、それがベクトルであると

いうことを示すような、ユーザの推定位置を表す。